



▶ OPEN

POST CARD

**山本健一  
市議会だより**

〒970-8047 いわき市中央台高久2丁目12番地の6  
TEL:090-6224-2374 FAX:0246-46-0650  
HP [www.iwaki-yamaken.org/](http://www.iwaki-yamaken.org/)  
Blog [ameblo.jp/iwaki-yamaken/](http://ameblo.jp/iwaki-yamaken/)  
Twitter [twitter.com/iwakiyamaken](http://twitter.com/iwakiyamaken)  
Mail [k.yamamoto8803@gmail.com](mailto:k.yamamoto8803@gmail.com)

## 9月定例議会

### 主な可決議案

## いわき市が産廃最終処分場予定地を購入

株山一商事が産廃処分場の設置を予定していた、21世紀の森付近の土地を、いわき市が購入するという議案が、全会一致で可決されました。

購入する土地の広さは、約37万平方メートル、東京ドーム約8個分の広さです。土地のほとんどは山林、原野であり、実際現場をみると木々が鬱蒼としています。購入価格は5千5百万円。2社の不動産鑑定士による評価額、6千2百万円、6千6百万円より低い価格です。

これで20年来の懸案だった、該当地の産廃処分場設置の問題は決着をみました。

しかし、いわき市内に産廃処分場を設置し、環境汚染を省みず、首都圏の産廃を受け入れ、一儲けしようと考える業者が、今後も出てこないとも限りません。

いわき市が排出する産廃を処分する処分場ならいざ知らず、他地域の産廃を受け入れる処分場については、恒久的に歯止めをかけるべきでしょう。



市が購入する土地  
(赤で示した部分)

## 9月定例議会

### 一般質問

## 1. 市営住宅の集約化

廃止対象の市営住宅は、入居者数が減り、入居者自らが行う草刈など維持管理作業が滞りがちとなっています。草が伸び放題の状態を放置して、荒れた印象を与えると、市営住宅の周辺地域の治安が悪化しかねません。この対策として、市営住宅の集約化の推進について質問しました。

木造の市営住宅では、管理個数が、1戸や2戸といった、極めて少ない管理個数となっている住宅があり、また、入居率が50%を切っている、住宅もあります。これは、廃止対象の市営住宅の場合、入居者が退去した際、新たに、入居者を募集せず、用途廃止をしてきたことによります。

一定の入居者数を維持するため、市営住宅の集約化を促進すべきです。入居者数が増えれば、安心安全のレベルは向上します。また、集約化の結果、入居者がゼロとなった団地全体を廃止すれば、管理コストが低減します。さらに、土地や建物の有効活用が期待できます。実際、用途廃止になった木造の市営住宅が、業者により、高齢者用住宅に再利用されたケースもあります。

市当局からは、入居者の意向を十分踏まえながら、集約化を進めて参りたい、と答弁を得ました。